

対象年度令和4年度

学校関係者評価結果

令和5年11月30日

船橋情報ビジネス専門学校
学校関係者評価委員会

I. 学校関係者評価の位置づけ

一般的に学校関係者評価とは、保護者、学校評議員、地域住民、青少年健全育成関係団体の関係者、接続する学校の教職員その他の学校関係者などにより構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することを基本として行うものである。

本校においては、学校関係者評価委員会が学校関係者評価を行う組織として設置している。本校における本委員会は、本校が毎年実施する本校の教育活動、運営に関する自己評価結果をベースとし、業界における専門性、地域社会の動向、本校卒業生の本校での経験を踏まえ、本校の教育活動、運営の改善を図り、本校校長に助言することを目的とする。

その委員は、本校校長が専攻分野の実務経験などの視点から人選し選任している。また、本委員会の委員には本校の教職員は含まない。

目 次

| | |
|---------------------------------------|---|
| (1) 令和 5 年度、船橋情報ビジネス専門学校学校関係者評価 | 4 |
| (2) 学校関係者評価結果概要..... | 4 |
| (3) 学校関係者評価結果詳細..... | 4 |
| 基準 1 教育理念・目的・育成人材像..... | 4 |
| 基準 2 学校運営..... | 5 |
| 基準 3 教育活動..... | 5 |
| 基準 4 学修成果..... | 5 |
| 基準 5 学生支援..... | 5 |
| 基準 6 教育環境..... | 6 |
| 基準 7 学生の募集と受入れ | 6 |
| 基準 8 財 務 | 6 |
| 基準 9 法令等の遵守 | 6 |
| 基準 10 社会貢献・地域貢献 | 6 |

(1) 令和 5 年度、船橋情報ビジネス専門学校関係者評価

学校関係者評価は学校関係者評価委員会の実施により行われる。
船橋情報ビジネス専門学校の学校関係者評価委員会は令和 5 年 10 月 31 日にホテル
フローラ船橋に於いて実施された。委員会の冒頭に本校の学校自己評価結果について
の説明を学校側より受けた。

学校側の説明と資料を踏まえて学校自己評価の評価項目毎に確認と評価と指摘を
行った。学校評価委員は委員長以下委員全員が本校の役職員ではなく、校外の企業や
団体の役職員であるため、本校の学校自己評価の説明のためと学校運営に関する委員
からの疑問や確認事項に答えるために、校長、教務部長、就職室長が委員会に同席し
た。

また、会議室の運営、議事録の作成のため本校の総務部長、事務局も同席している。

(2) 学校関係者評価結果概要

全体を通して、今回の学校関係者評価委員会に於いては学校自己評価に関しても
学校運営自体に関しても、特に不適とする指摘、緊急で改善を要する様な指摘はな
かった。

(3) 学校関係者評価結果詳細

以下の学校関係者評価は本校学校自己評価の各項目と対応している。

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

教育理念から、自立した職業人の育成を教育の目標としている事が読み取れ、学
生を受け入れる業界、企業の立場からは、技術、人格、資格を兼ね備えた人材育成
を期待するが、本校はそれに沿う教育方針があり、成果もでていと評価された。
学校の理念 3 つの守りを身に付けることにプラスして感じの良い挨拶をきちんとで
きる事を教育の中で重視していること。IT 知識は勉強する事で社会に出てからも
身につけることは出来るが、礼儀正しさは「礼儀」を意識した普段の生活態度から
身につくことであり、社会に出て社内外の人に与える印象が「好感」されるかどう
かの重要なポイントとなり、採用面接でも同様に重視される。社会人となる前の人
間教育は継続し注力する事を切望する。

基準 2 学校運営

特に学校関係者評価委員よりの確認・指摘となった事項はなかった。

基準 3 教育活動

令和 4 年度はほぼ全ての授業を対面形式に改めて、感染対策を行いつつ実施した。資格取得状況、学生アンケートによる満足度など、コロナ以前と遜色のない結果を出したことを評価したい。

試験制度の変更により個々の学生の学習進捗度に応じて放課後に補講を実施するなど教師に負荷がかかったが、国家資格取得については過去最高の合格者を輩出した。

また、マスク着用によるコロナウイルス感染対策を行うなどしてクラスター発生もなく教育活動が支障なく執り行えたと説明がされた。

基準 4 学修成果

IT エンジニア 4 年制の学生を中心に情報処理技術者試験レベル 4 を 22 名が取得し、レベル 3 の応用情報技術者試験資格についても 71 名が取得し、全国トップレベルの合格者を輩出した。

委員から多数の高度情報処理技術者試験、応用情報技術者試験に合格者が出る背景について説明が求められた。

カリキュラムについては 1、2 年次に国家資格取得中心の授業を行い、3、4 年次はより専門的な学習内容でカリキュラムを編成し、じっくりカリキュラムに取り組むことが出来る教育環境が資格取得者増加に繋がっている。加えて、当校では副担任制を敷いており、授業中の対応も 2 名体制で手厚く行っている。国家試験前についても放課後に教師が残り、学生に徹底した試験対策を行っていることも大きな要因との説明があった。

基準 5 学生支援

学生の就活支援について組織的な取り組みとその成果について確認をした。就職指導室と担任の先生とで学生を担当しており、特に就職指導室には 5 名配置し手厚い就活支援をしている。リーマンショック以降リーマンショックの反省もあり早い段階で機動的に活動を行い高就職率に繋げている説明を受けた。

基準 6 教育環境

コロナ禍での留学生受け入れ及びグローバル化の方向性についての考えを議論した。前年に続きグローバル化はコロナ禍で対応困難になり、留学生入学も条件含め厳しい状況が続いている。留学生が来日する人数が減少したことで、問合せ自体が激減した。令和3年度に引続き令和4年度も留学生入学者が0名であった。しかし、5類に移行後留学生からの問い合わせも増えており令和5年度の状況を見ることとした。

近年の地震、台風による浸水などの災害に備える体制の防災面について確認がされた。災害対策としては賞味期限切れ備蓄品等を入れ替えるなど行った報告があった。

基準 7 学生の募集と受入れ

現状維持でよいと判断できる。ほぼ定員の出願数をいただいているここ数年を見ても学生募集は順調であることが確認され学生の受け入れについても、経営の健全性も確認できた。

修学支援新制度のコロナ下で家計急変した学生の支援を学生支援緊急給付金の申請等を継続して実施し、令和4年度修学支援新制度実績158人（うち家計急変による支援対象者1人）。と説明がされた。

基準 8 財 務

例年のことではあるが、財務状況は健全であることが確認され安定性は特筆できると評価した。学校関係者評価委員からの指摘事項は特になかった。

基準 9 法令等の遵守

特に学校関係者評価委員よりの確認・指摘となった事項はなかった。

基準 10 社会貢献・地域貢献

従来から地域に密着した、ボランティア活動を行っていることは評価していたが、令和4年度は船橋市美化運動が再開され、約280名の学生が参加したとの報告があった。

以上